

広報

おきす

2019

1

No.168

冬の到来

あ い さ つ

復興の歩みを進める

あけましておめでとうございます。市民の皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。また、平素より市政の各分野にわたり、格別のご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、3月に清水裕前市長が63歳の若さで急逝されるという激動の中でスタートし、7月には、西日本を襲った豪雨災害により、家屋や事業所、農地などの浸水や土砂災害など、過去に経験のない甚大な被害が発生しました。そして主要な水源地も水没したことにより、市内世帯の約半数が断水となり、多くの市民の皆様にご不便をおかけしました。発災から半年が経過しましたが、今も家屋の修理ができません。自宅以外での生活を余儀なくされている人や大切な家族、財産を失われた皆様の辛く悲しい気持ちを思うと、言葉を失ってしまいます。

多くの皆様にご支援をいただくとともに、全国から心温まる励ましの声やご厚志を頂戴しました。ご支援を賜りましたすべての皆様に深く感謝と御礼を申し上げます。

これから本格的な復興の歩みを進めていくため、昨年末に大洲市復興計画（暫定版）を策定し、復旧・復興の基本施策を取りまとめました。一日でも早い生活再建と経済の再生を図るため、復興事業をスピード感を持って推進してまいります。その中で12月15日には、肱川緊急治水対策の着工を挙行し、今年からおおむね5年間による激特事業が始まります。この肱川の治水対策により築堤や暫定堤防の嵩上げ、河道整備が実施されます。この激特事業の完成により7月豪雨災害と同規模の洪水に対応できるようになり、肱川の治水安全度は向上していきますが、全国各地で頻発している集中豪雨や今後起こりうる大規模災害への備えを講じていくことも必要です。

そこで肱川水系河川整備計画の見直しを含め、災害を未然に防ぐための社会基盤整備、防災情報の共有化や避難情報伝達など、引き続き防災対策の強化に取り組んでまいります。

今年、1月11日から市内中心部循環バス「ぐるりんおおす」の運行を再開します。これからも持続可能な交通手段の確保と利便性を高めることができる環境整備を行い、効果的な交通施策を展開してまいります。

5月には、「平成」が終わり新しい元号となります。そしてラグビーワールドカップが日本で開催され、東京オリンピックのプレイベントも始まり、スポーツ界も一層盛り上がってまいります。その一方で、10月には、消費税が10パーセントになり、少子化・高齢化対策や社会保障制度改革も待ったなしの状況であり、まさに2019年は、時代の転換点を迎える年となります。

豪雨災害による「ピンチ」を「チャンス」に変え、災害に強いまちをつくり、大洲市に住み続けたいと思える、市外から訪れる観光客にも大洲市に行ってみよう、住んでみたいと思える「住んでよし」訪



大洲市長

ひさ 久 隆 二 宮 隆 二

新年のご

れてよし」のまちを目指して復興の歩みを進めます。今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ます。

今年一年が、災害のない平穏な年となり、市民の皆様にとりまして幸多い年となります。

すよう心から祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

幾多の苦難を乗り越えて

あけましておめでとうございます。

年頭にあたり、市議会を代表し、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

市民の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年は大洲市にとって大変苦難の一年でありました。

年明け早々の1月、2月には、近年まれにみる寒波に見舞われ、市民生活に大きな打撃を与えました。特に、肱川・河辺地域においては、一部で孤立集落が発生するなど、厳しい冬となりました。

また、3月には清水前市長が急逝されました。大洲市を愛し、大洲市のために一生懸命尽くしておられた清水前市長の突然の訃報は大変大きな衝撃でありました。

さらに、7月には西日本各

地に大きな爪あとを残した「平成30年7月豪雨災害」が発生しました。肱川の氾濫や土砂崩れなどにより4人の尊い命を失ったのはじめ、家屋や事業所などの浸水・損壊被害が約4000棟、浸水面積も約1400畝という未曾有の大災害となったことは、痛恨の極みであります。被災された皆様に一日も早く以前の平穏な日々が戻りますことを祈念してやみません。

このような状況の中、大洲市においては、二宮市長のもと、国や県の支援を受けながら、被災地の復旧・復興、肱川の治水対策に全力で取り組んでおられます。以前の日常生活や産業活動に戻るには、まだまだ大変な道のりがございますが、市民の皆様のおかげで、昨年以上に苦難な年は無い」「今年はずいぶん良い年になる」との強い気持ちをお持ちいただき、「がんばろ

う！大洲」を合言葉に、一緒に頑張っていたきますようお願いいたします。

私たちが市議会は、二元代表制の一翼として、市長と常に緊張感のある関係を保ちながら、大洲市が抱える諸課題に対し地域の実情を細かく捉え提言し、そして政策に反映させることにより、市民福祉の向上や市政の発展に寄与していかなければなりません。今後におきましても、さまざまな課題の解決に向け、市民の皆様の声を十分にお聴きし、議員自ら自己研鑽に努め、市議会の改革・活性化にも引き続き取り組んでまいりたいと考えていますので、なお一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

結びに、新しい年が活力にあふれ、笑顔で暮らせる素晴らしい年になりますよう心よりご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

大洲市議会議長

押 田 けん いち 憲 一



がんばる大洲っ子

長中の良いところを受け継いで

長浜中学校 3 年

井 上

しゅん 駿 さん



僕が生徒会長になりたいと思った理由は、2つあります。1つ目は、先輩の生徒会長を見てきて、生徒を引っ張る姿が格好良かったからです。僕も、学校の代表として、活動したいと思いました。

2つ目は、長浜中学校の素晴らしい伝統や文化を受け継ぎたいと思ったからです。特に「あいさつがよいできる学校」と言われてきた伝統は、これから少しずつ受け継いでほしいです。

僕は、生徒会長としての活動を通して、リーダーシップを身につけるなど、多くの面で成長できたと思っています。卒業まで残りわずかですが、生徒会長の役が終わっても、3年生として下級生の目標になれるよう過ごしたいです。

将来は、食品関係の仕事に就きたいと考えていますが、父から教えられた「上には上がある」の言葉を胸に、現状に満足せず努力を続けていきたいです。

1 月の納税など

納期限は 1 月 31 日(木)です。

税 別	1 月	2 月	3 月	4 月
市 県 民 税		5 期		
固 定 資 産 税	5 期			1 期
軽 自 動 車 税				
国 民 健 康 保 険 税	7 期	8 期	9 期	

市税などの納付は、便利で安心な「口座振替」を。

現在の大洲

	人の動き(先月比)	交通事故(去年同期)
人 口	43,438人 (－ 33)	件 数 80件(100 件)
男	20,727人 (－ 8)	死 者 0人(3 人)
女	22,711人 (－ 25)	負傷者 105人(134 人)
世帯数	19,886世帯(－ 29)	

(2018年11月末現在)

CONTENTS 目次

2 ページ～	新年のごあいさつ
4 ページ	がんばる大洲っ子・今月の表紙
5 ページ～	(特集)「もったいない」の気持ちを忘れずに
8 ページ	平成30年 7 月豪雨関連
9 ページ～	おおずニュース
13 ページ～	シリーズ
14 ページ～	おしらせピックアップ
22 ページ～	情報ひろば
24 ページ	集まれ O 級若モン
25 ページ～	図書館・保健センター・各種相談ガイド
28 ページ	がんばるひと
	(応急仮設住宅 徳森仮設団地)

今月の表紙



平成30年 1 月に、雪化粧した臥龍山荘を撮影しました。

緑に覆われた臥龍山荘もきれいですが、冬の臥龍山荘にも同じように魅力があります。平成最後の冬も、景色を楽しめるかもしれません。

(特集)

「もったいない」の気持ちを忘れずに ～食品ロスを減らす取り組み～



「食品ロス」の現状

日本では、「食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律（食品リサイクル法）」に沿って、食品廃棄物の量を減らしたり、飼料や肥料への再生利用を促したりする取り組みが行われています。環境省の発表によると、平成27年度には、約2842万トンの食品廃棄物が発生したと推計されています。

また、食品廃棄物の中には、まだ食べられるにもかかわらず捨てられてしまう「食品ロス」が含まれています。平成27年度には、約646万トンの食品ロスが発生したと推計されました。

食品ロスとは

本来食べることができる状態であるにもかかわらず廃棄された食べ物のことです。製造過程で発生する規格外品、飲食店などで発生する食べ残し、期限切れの食品などがあります。平成27年度には、事業所から約357万、家庭から約289万が発生したと推計されています。（環境省）



各家庭からも

食品ロスは、家庭からも発生していて、全体のおよそ半分を占めています。

家庭から発生する食品ロスは、次の3種類に分類されます。

食べ残し

食卓に上った食品で、食べ切れずに廃棄されたものです。料理の作り過ぎや、冷蔵庫などに保存して忘れてられることによって発生します。

直接廃棄

賞味期限切れなどにより、使用されることなく、手をつけないまま廃棄されたものです。食材の買い過ぎや、不適切な保存方法などが原因で発生します。

過剰除去

果物や野菜、魚介類を調理する際に、食べられる部分も除去・廃棄されたものです。なお、通常食べずに廃棄される野菜の皮や魚の骨などは、過剰除去には含まれません。

県・市の取り組み

愛媛県では、平成29年3月に策定した「第四次えひめ循環型社会推進計画」に基づき、3R活動に取り組みられています。その中でも、最も優先度の高いリデュース（廃棄物の発生抑制）を一層推進し、食品ロスの削減を図るため「愛媛県食品ロス削減推進協議会」が設置されました。県下20市町すべての団体が参加しています。

また、食べ残しを減らす取り組みを実施する飲食店、宿泊施設などを「おいしい食べきり運動推進

店」として登録し、県民へ広く紹介して意識啓発を図る「食べ残しゼロキャンペーン」を平成29年8月から9月まで実施しました。県内62店舗が登録され、大洲市からは2店舗（もがみ大洲店、清流の里ひじかわ）が登録されました。

全国規模では、「第2回全国食品ロス削減全国大会」が、平成30年10月29日（月）、30日（火）に京都市で開催されました。大会の主催者である「全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会」には、平成30年11月現在、県内20市町を含む375自治体が参加しています。

全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会 全国共同キャンペーン

忘年会 新年会は おいしく残さず 食べきろう!

宴会五箇条

1. 人間やメンバー、メニューをよく見て、食べきれぬ量を注文しよう!
2. シェア（分け合い）食べきれない料理は仲間内で分け合おう!
3. 料理さんから「おいしく、残さず、食べきろう!」の一言で盛り上げよう!
4. 残さず食べきり
5. きれいなお皿（食べ残しなし）をみんなで作ろう!

楽しい宴会中に、お仲間と盛り上がる宴を作ろう!

食品ロスを減らすために **30.10.10** しっかり食べよう!

愛媛県環境部環境部循環型社会推進課

愛媛県環境部環境部循環型社会推進課

私たちにできること

食品ロスを減らすために、私たちにできることは何があるでしょうか。それぞれの場面ごとに紹介します。

(出典：環境省ホームページ <http://www.env.go.jp/recycle/foodloss/general.html>)

買い物のとき

買い物の前に冷蔵庫の中の在庫を確認したり、食べきれないほどの食材を買いすぎないようにしましょう。すぐに食べる商品は、賞味期限や消費期限の長い商品を選択するのではなく、陳列順に購入しましょう。

調理のとき

調理のときは、食べきれる分だけ作るようにしましょう。また、食材が余ったときには、使い切りレシピを検索してみましよう。消費者庁では、「食材を無駄にしないレシピ」を料理レシピサイト「クックパッド」の「消費者庁のキッチン」において紹介しています。



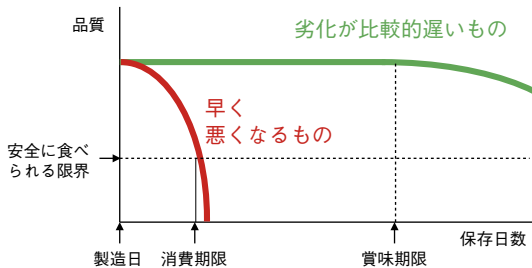
料理レシピサイト
クックパッド
「消費者庁のキッチン」
<https://cookpad.com/kitchen/10421939>

「消費期限」と「賞味期限」の違い

加工食品には、「消費期限」と「賞味期限」が表示されています。食品ロスを減らすために、この2つの違いをきちんと理解しましょう

	消費期限	賞味期限
意味	期限を過ぎたら食べないほうがよい期限。	おいしく食べることができる期限。この期限を過ぎても、すぐに食べられないということではない。
表示	年月日	年月日(3カ月を超えるものは年月)
対象	弁当、サンドイッチ、総菜、ケーキ など	スナック菓子、カップ麺、卵 など

※開封する前の期限であり、一度開封したら期限にかかわらず早めに食べましょう。



保存のとき

食べきれなかった食品については、冷凍などの傷みにくい保存方法を検討しましょう。また、保存していた食べ残しを忘れてしまわないように、冷蔵庫の中の配置方法を工夫しましょう。

外食するとき

まずは食べきれる量の注文を心がけましょう。残ってしまった場合には、容器などに入れて持ち帰ることができるとかどうか確認してみましよう。特に宴会では食べ残しが多く出ます。乾杯後30分間、お開き前10分間は、自分の席で料理を楽しむ「3010運動」に取り組んでみませんか。

特に年末年始は、忘年会や新年会の機会も多くなります。一人ひとりが「もったいない」を心がけ、おいしく楽しい宴会にしましょう。

食べきれないとき

買いすぎて食べきれない場合や、贈答品が余ってしまう場合には、フードドライブ^(※)などへの寄付やお裾分けを検討しましょう。

※各家庭で余った食品を持ち寄り、食べ物に困っている人や福祉施設などに寄付する取り組み。

「もったいない」の気持ち忘れずに

食品ロスは、日常生活の中にあるちょっとした配慮で減らすことができます。上記のように、買い物前に冷蔵庫の中を確認することや、食べきれる分だけ調理するなど、ちょっとした意識で改善できます。

食品ロスを削減することは、貴重な食料資源の節約になるだけでなく、ごみの削減にもつながります。「もったいない」の気持ちを意識して、毎日の生活で少しずつ、できることから食品ロスの削減に取り組ましましょう。



納税の猶予制度について

平成30年7月豪雨災害により被害を受けた人は、納税の猶予制度が適用される場合があります。
お早めにご相談ください。

【納税の猶予とは】

災害などにより、納期内に一度に納税することができない場合に、徴収の緩和を行うものです。
納期未到来分や、滞納している市税も対象になる場合があります。

【効果】

▽督促および滞納処分等の停止
▽延滞金の免除 など

【その他】

豪雨災害により実際に損失を受けた金額が分かる書類や、財産状況が分かるもの（預金通帳など）を持参して、ご本人などの生活状況を申告していただきます。

【相談・問い合わせ先】

税務課収納係 ☎241711

復興の願いを込めて

下鹿野川地区の子どもたちによる「こども神輿」が、11月13日(火)、大駄場ふれあい広場などで行われました。肱川地域で毎年行われていた「お亥の子」や「鹿踊り」などの伝統行事が、平成30年7月豪雨の影響により、すべて中止となりました。そこで、下鹿野川地区の愛護班が発起して、今回のこども神輿が開催されました。

法被に身を包んだ子どもたち15人は、大きなかけ声を出して、手作りの神輿を担いでいました。



「がんばろう！大洲」ポロシャツ・ジャンパーの販売開始について

市全体の復興に向けた機運を高めていくために、「がんばろう！大洲」のロゴを活用したポロシャツとジャンパーの販売を開始しました。

【注文方法】

- ▽「注文票」に必要事項、希望デザインやカラー、数量を記入してください。
- ※注文票は、市公式ホームページよりダウンロードできます。
- ▽注文票をダイヤスポーツへファクスし、注文してください。
- ※注文票を店舗へ持参してもかまいません。
- ▽ファクス後、ダイヤスポーツへ電話で確認をしてください。
- ※納品までに約2週間要しますが、サイズ・カラーによっては納期が遅れる場合があります。

【納品・代金支払い】

- ▽品物は、ダイヤスポーツが各所属先などに直接納品します。
- ※店頭での受け取りも可能です。市外の方は送料が発生します。
- ▽代金は、納品の際、請求書によりダイヤスポーツへ直接お支払いください。



その他のデザインは、市公式ホームページをご覧ください。

【申し込み先】

有限会社ダイヤスポーツ

☎24-2392 FAX24-2355

【問い合わせ先】

復興支援室 ☎24-1728

<http://www.city.ozu.ehime.jp/soshiki/fukkoushien/30670.html>